

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	高齢者リハビリテーション Geriatric Rehabilitation			担当 教員	備酒 伸彦/長尾 徹 (非常勤)	
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	講義	
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい								
(備酒)		在宅要介護高齢者の生活を支援するためには何が必要かを、①時代と共に変わるリハビリテーションとケア、②行為の自立と決定の自立といった観点から考える。 その上で、リハビリテーションやケアに関わる我々が何をなすべきかについて考えることのできる力を醸成する。						
(長尾)		高齢者のリハビリテーションとして一翼を担う作業療法について紹介し、その保健・医療・福祉領域にまたがって有用な基礎的部分について講義する。受講者は作業療法についての理解やその方法論を理解することができる。						
授業のキーワード								
(備酒)		在宅要介護高齢者、ADL、QOL、阻害因子、障害構造の評価						
(長尾)		作業療法、作業活動、作業分析、福祉用具・自助具						
講義回数	授業内容及び計画							
第1、2回	(備酒) 時代と共に変わるリハビリテーションとケア							
第3、4回	行為の自立と決定の自立							
第5、6回	リハビリテーションとケアに必要なコミュニケーション							
第7、8回	問題・課題の抽出と解決の手法							
第9、10回	(長尾) 作業療法と作業療法で用いられる作業活動について							
第11、12回	作業療法の核となる作業活動の分析と作業療法での活用について							
第13、14回	福祉用具の活用と自助具の活用について							
テキスト								
(備酒)	特になし							
(長尾)	特になし							
参考文献								
(備酒)	適宜紹介する							
(長尾)	適宜紹介する							
成績評価の方法								
授業の出席状況(10%)、レポート(90%)により総合的に評価する。								
教員から学生へのメッセージ								
(備酒)	授業は常に学生諸君の積極的な参加を求めます。							
(長尾)	授業をとおして作業療法についての理解を深め、受講生の専門分野にて応用していただきたい							